

☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」
三プロック階級闘争を
世界プロ独立世界共産主義の勝利へ/
共産主義者同盟

5月15日
第257号
編集発行人 井村和夫
一部 50円
郵便料金20回1300円(平六)

集会方戦

戦旗社

TEL 03(765)8551

東京都本所郵便局私書箱44号

三派集会の成功から、また 蜂起 - 戰争の大道を進め!

清水谷集会1500名結集 4・25、26、28連続斗争 首都に反帝戦線を確立



1,500名を結集して圧倒的成功を収めた清水谷集会

日本階級斗争の転換点と我々の道

共産主義者同盟中央政治局

(一)

71年4・28闘争の到達点

木曜日の「闘争の到達点」は、本紙が階級闘争の第一歩として掲げた「三派集会」の成功から、また蜂起から戦争の大道を進める。この行動の風向転換は、政治的・社会的・経済的な複数の要因によるものである。

（1）闘争の到達点

木曜日の「闘争の到達点」は、本紙が階級闘争の第一歩として掲げた「三派集会」の成功から、また蜂起から戦争の大道を進める。この行動の風向転換は、政治的・社会的・経済的な複数の要因によるものである。

（2）三派集会の時期的意義とは何か

（3）プロレタリア国際主義の複権

（4）日本帝國主義国家権力の性格と非合法党建設

（1）闘争の到達点

木曜日の「闘争の到達点」は、本紙が階級闘争の第一歩として掲げた「三派集会」の成功から、また蜂起から戦争の大道を進める。この行動の風向転換は、政治的・社会的・経済的な複数の要因によるものである。

（2）三派集会の時期的意義とは何か

（3）プロレタリア国際主義の複権

（4）日本帝國主義国家権力の性格と非合法党建設

（1）闘争の到達点

木曜日の「闘争の到達点」は、本紙が階級闘争の第一歩として掲げた「三派集会」の成功から、また蜂起から戦争の大道を進める。この行動の風向転換は、政治的・社会的・経済的な複数の要因によるものである。

（2）三派集会の時期的意義とは何か

（3）プロレタリア国際主義の複権

（4）日本帝國主義国家権力の性格と非合法党建設

階級的報復の基調鮮明に

田向一派破防法闘争から脱落

4・25 破防法集会300で

4・29反弾圧集会開催

「革命戦争の勝利万歳！」

スローガンに



全国で蜂起派領導のため一派を脱落

西 全関西の戦線再編

革命的に開始される

(年1月15日施行)

知 4・19人皆斗争デマゴギー

集団=田向一派を粉碎

愛

第2回

東北地区反帝戦線

4・23政治集会基調



全國で蜂起派領導のため一派を脱落

スローガンに

4・25破防法集会300で

「革命戦争の勝利万歳！」

4.29反弾圧集会開催

全国で蜂起派領導のため一派を脱落

スローガンに

4.29反弾圧集会開催

全国で蜂起派領導のため一派を脱落

スローガンに

4.25破防法集会300で

「革命戦争の勝利万歳！」

4.29反弾圧集会開催

全国で蜂起派領導のため一派を脱落

スローガンに

4·26 中央政治集会基調（要旨）

12

12·18集会の意義と

本集会の位置

(年1月15日発行)

12·18集会は、本集会の意義と、本集会の位置について述べる。

(年1月15日発行)

同盟の到達地と現段階の実戦的課題

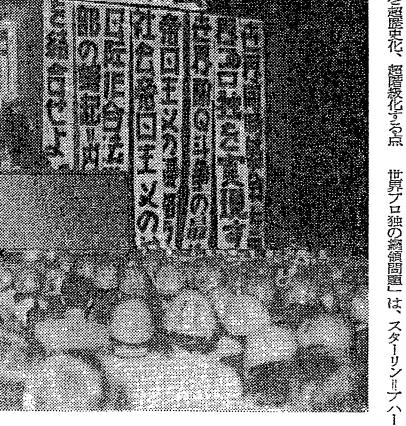


我々の方針

玉内諸党派批判と

反革命同盟の全面的弾圧

と共に産主義者の任務



党建設の現段階と 四月闘争の到達した地平

七〇年代武装闘争の陣型を提示へ。

奪還報告集会圧倒的に貫徹！

(毎月1日、15日発行)

15号 5月中刊 刊

A 黒田方法論・弁証法の批判
B 黒田理論の経済学上の誤謬
C 「ルーゲルとマルクス」批判
D 「社会観の探求」批判
E 「プロレタリア的人間の論理」批判

宇野経済批判(中) 横原均
宇野経済政策論批判 旭凡太郎
ニセ「イズム14号」の批判

主要内容
第三部 理論戦線九・十号批判
第一部分 八派解体蜂起をめざす单一党建設を
わが同盟の立脚点について
過渡期世界論・世界プロ独の綱領的
諸問題

鉄の戦線NO2
好評発売中 定価400円
主要内容

一、序文
二、鉄の戦線派4・7政治集会
基調

三、同盟脱落諸派の解体に向
け
四、世界プロ独への軍事問題
五、綱領獲得のための諸前提
六、宇野体系の根底的解体に
むけて

一徳二さら
全国書店にて絶賛発売中
連絡先 東京都港区東麻布2
の5三和荘3号
東京 55400

共産主義

E 「プロレタリア的人間の論理」批判
宇野経済批判(中) 横原均
宇野経済政策論批判 旭凡太郎
ニセ「イズム14号」の批判